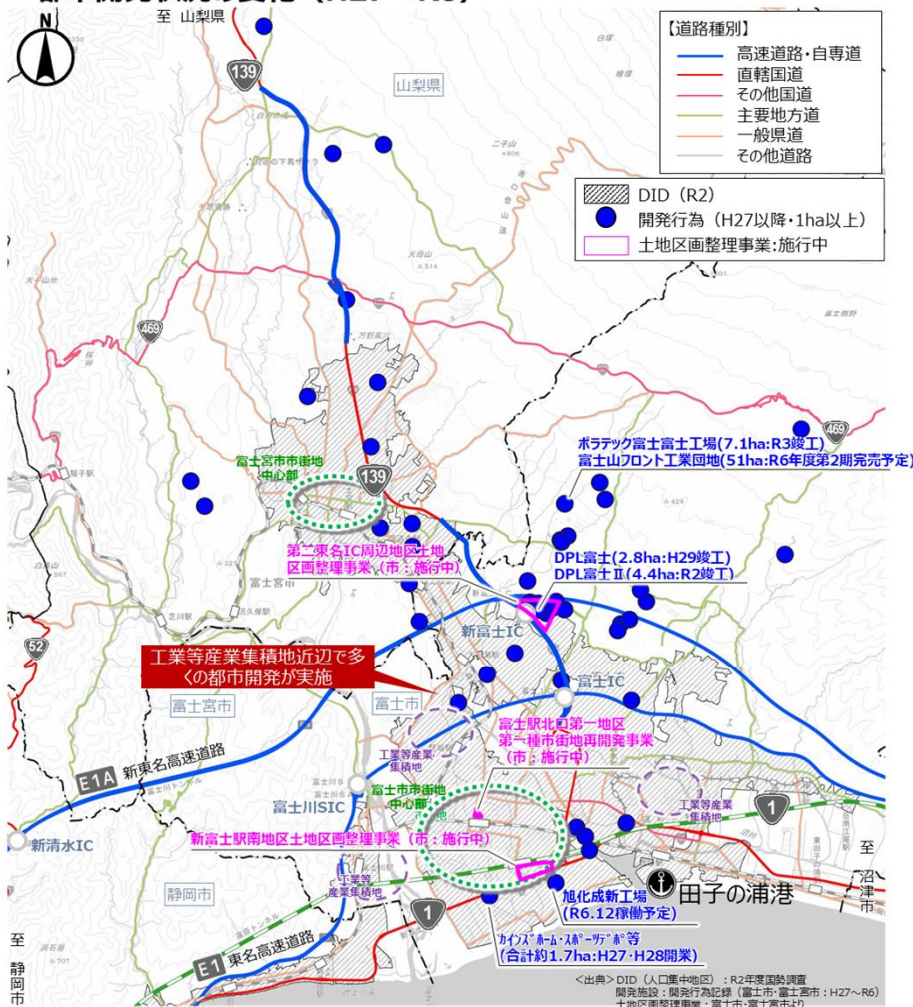


道路のサービスレベル向上に向けた取り組みについて (国道139号小泉若宮交差点)

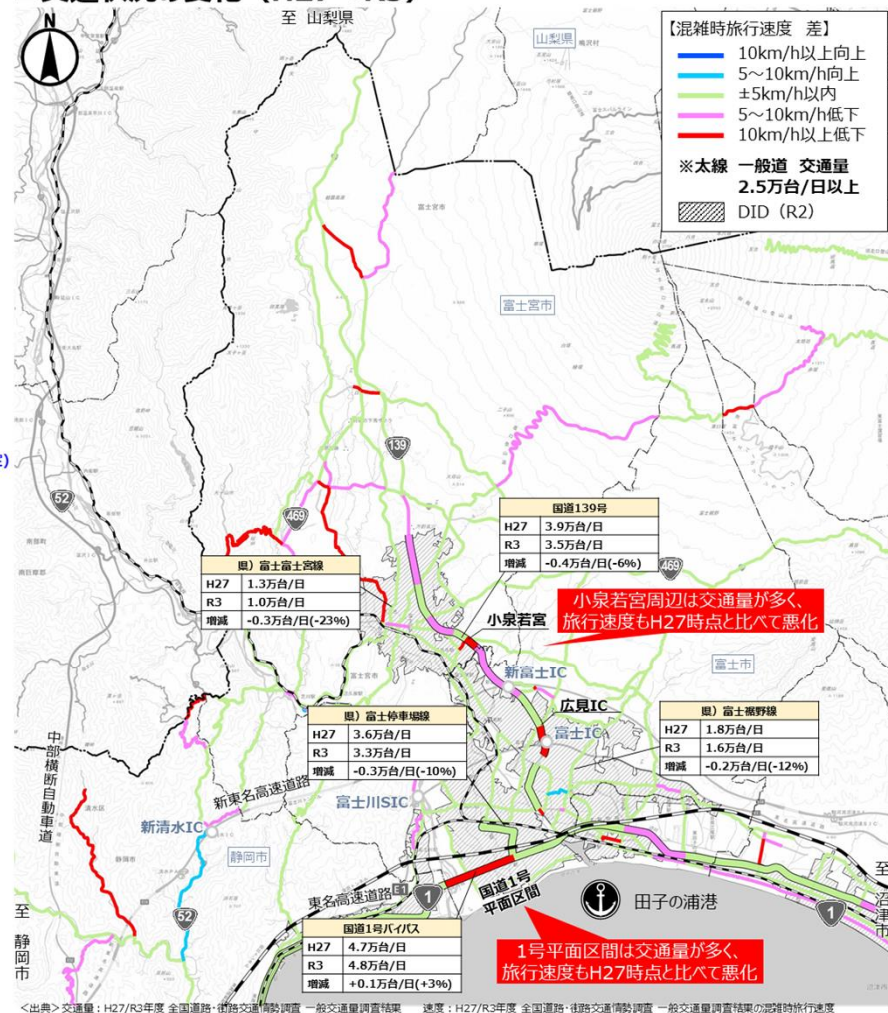
岳南地域における開発状況及び交通状況の変化

- 岳南地域では、直近約10数年で新たな工業団地が立地、多数の地域で開発行為が行われており、都市開発が進展
- H27センサスR3センサスと比較すると、岳南エリア全体の交通量は減少傾向にあるものの、主要幹線道路である国道1号・国道139号の交通量は横ばい。
- 主要幹線道路である国道1号平面区間や国道139号小泉若宮交差点付近の旅行速度が低下し、交通課題が悪化。

■都市開発状況の変化 (H27⇒R6)



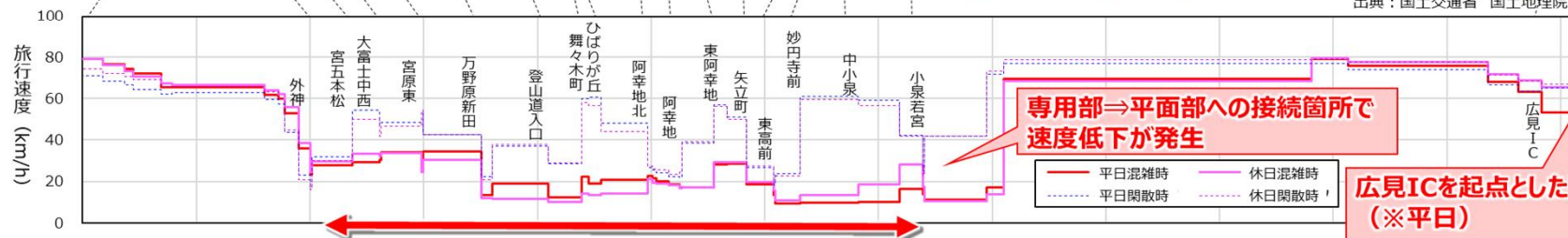
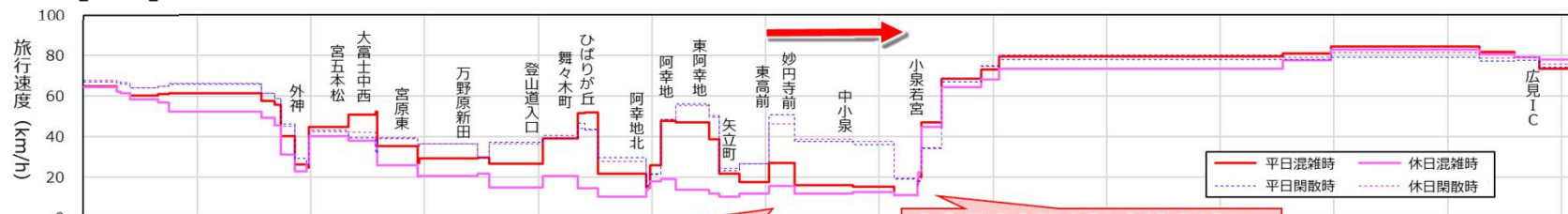
■交通状況の変化 (H27⇒R3)



国道139号の渋滞発生状況・使われ方

○ 富士宮市国道139号では、小泉若宮交差点を起点とした混雑時・閑散時ともに速度低下が発生している。また、混雑時は、小泉若宮における渋滞が波及し小泉若宮～東阿幸地間の速度ギャップが大きくなっており、ポテンシャルが十分に発揮されていない状況
 ⇒令和7年1月24日に開催した静岡県道路交通渋滞対策推進協議会 岳南エリアWGにて、喫緊の課題として、小泉若宮交差点における対策の必要性を確認した。

→ 上り[南進]



← 下り[北進]

信号連坦区間での断続的な速度低下が発生

出典：R5.9月ETC2.0プローブ情報（様式2-3）より算出【DRM区間単位の各日各時間帯の速度から集計】
 平日混雑時(7～8時台)20日間の平均旅行速度（50%タイル値）、平日閑散時(22～5時台)20日間の平均旅行速度（50%タイル値）
 休日混雑時（上り15～16時・下り10～11時台）10日間の平均旅行速度（50%タイル値）、休日閑散時(22～5時台) 10日間の平均旅行速度（50%タイル値）

国道139号小泉若宮交差点【課題・交通状況】

- 富士宮市国道139号小泉若宮交差点付近は、交通量が約35千台/日と多くの交通量が流入する区間である。
- 北進方向は、朝と夕方に速度低下が発生。特に朝時間帯は、連続した渋滞が発生。
- 南進方向は、一日を通じて速度低下が発生。特に朝時間帯は、小泉若宮交差点を起点とした連続した渋滞が発生。

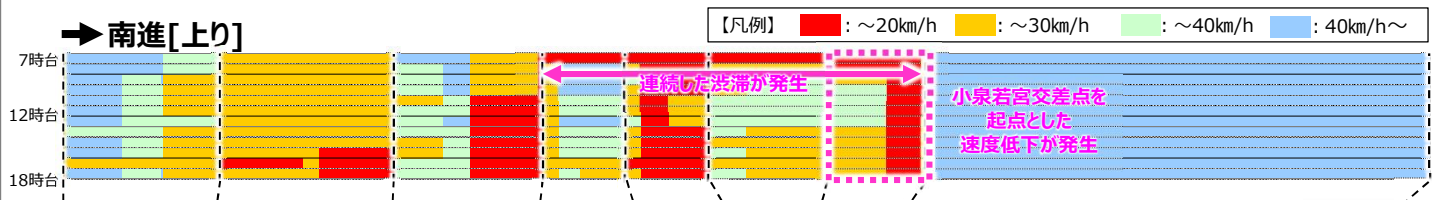
■位置図



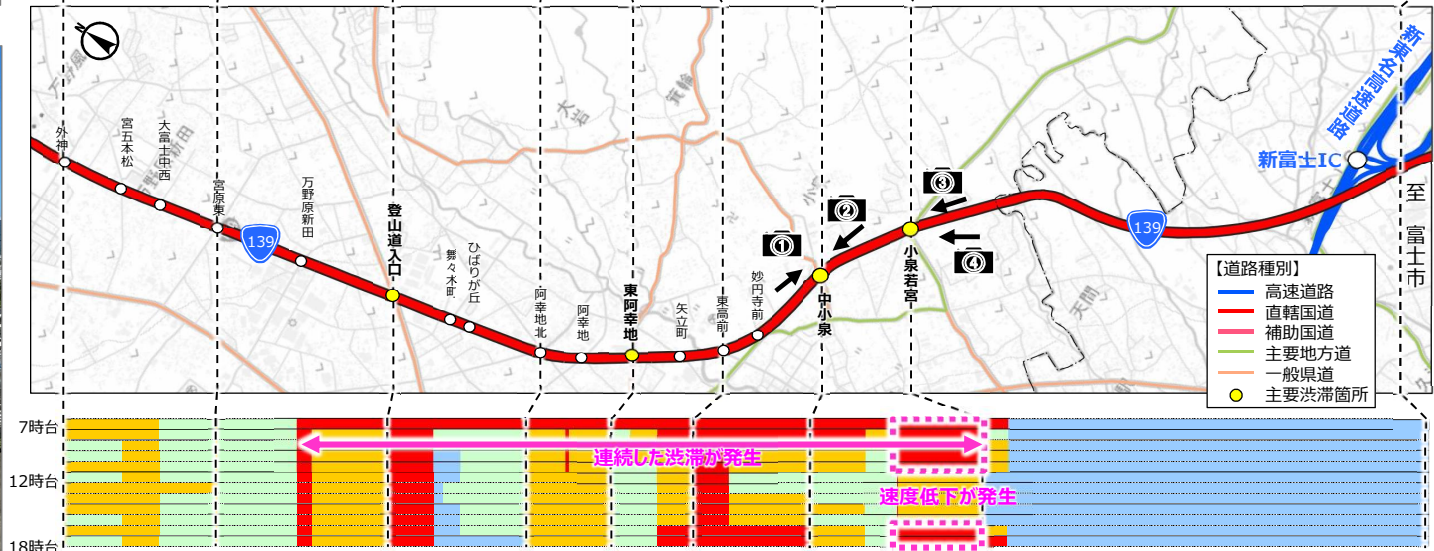
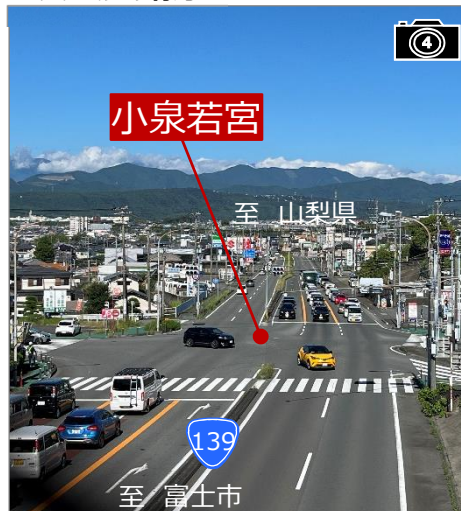
■南進方向の交通状況



→南進[上り]



■交差点の様子



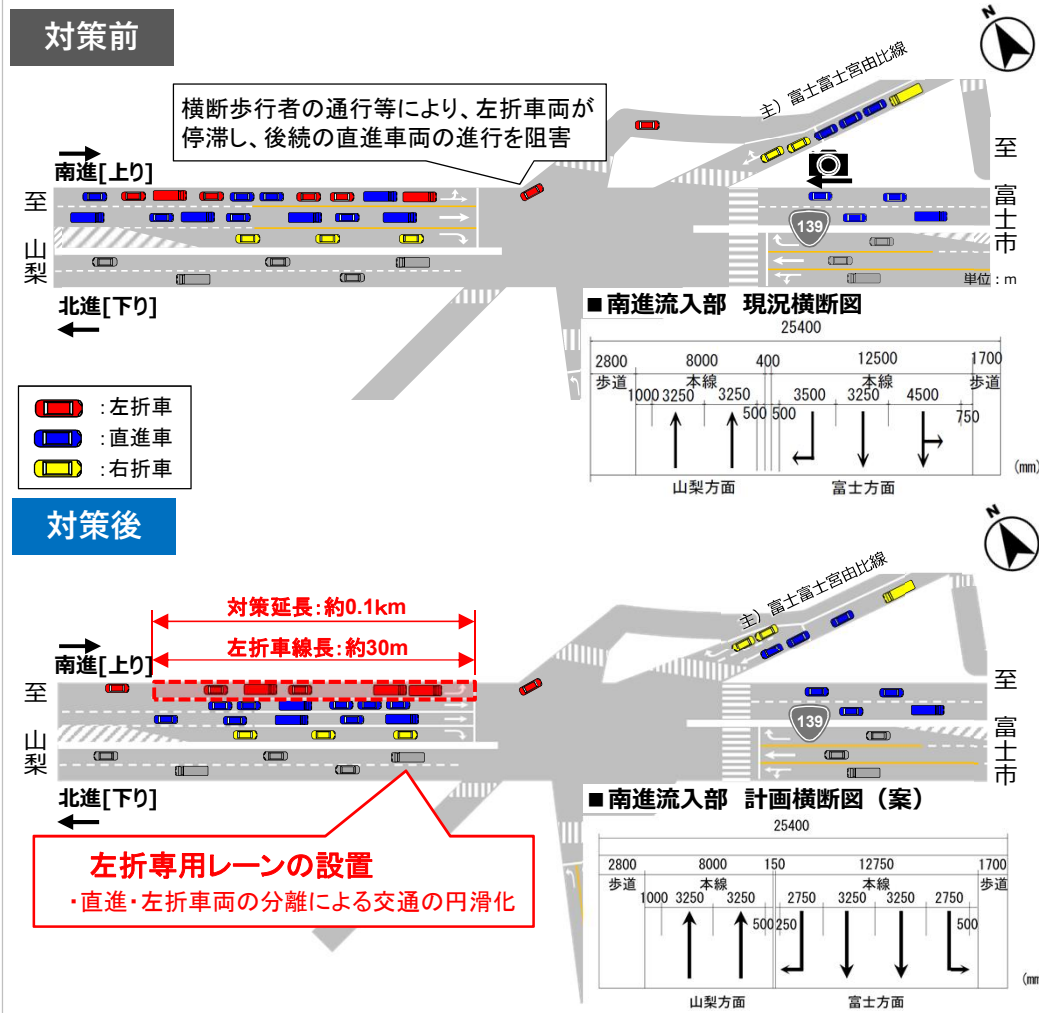
←北進[下り]

出典：（地図）国土交通省 国土地理院（速度）ETC2.0プローブデータ（R6.10月平日）
 （交通量）令和3年度 全国道路・街路交通情勢調査 24時間交通量（国道139号 上下計）

国道139号小泉若宮交差点【検討項目(案)及び対策案】

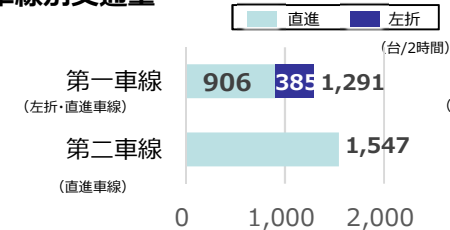
○南進の車線は左直/直進/右折となっているが、直左車線に左折車両が混在することにより旅行速度が低下。
 ⇒ 南進方向の旅行速度向上を検討項目(案)として設定。
 ⇒ 南進の左折車と直進車の混在を解消するため、左折専用車線の新設を実施。

■対策案イメージ図

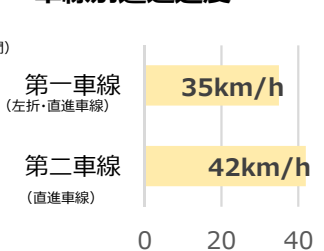


■南進のピーク時交通状況

・車線別交通量



・車線別通過速度



■左折車両による後続直進車両の進行阻害の様子

